

地域価値の創造

地域の魅力を発掘し、それを発信することで地域価値を創造します。



■ 農業分野の支援

香川県産オリジナル品種のアスパラガスを生産する農業法人に対して、日本政策金融公庫高松支店農林水産事業と連携し、生産拡大のための栽培施設等の設備資金を支援いたしました。

同法人に対しては融資だけでなく、地域商社「Shikokuブランド株式会社」を通じたブランディング支援にも取り組んでおります。また、当行では「6次産業化」や「農工商連携」にも積極的に取り組んでおり、補助金も活用しつつ香川県産の果物や野菜等の新商品開発・販路拡大を支援しております。

■ 「瀬戸内国際芸術祭2022」に協力

当行グループを挙げて、瀬戸内の島々を舞台に3年に一度開催される「瀬戸内国際芸術祭」を応援しております。5回目となった今回も、清掃活動の実施や作品受付ボランティアに参加する等、地域の一大イベントを盛り上げるお手伝いをいたしました。

■ 日本航空株式会社と包括連携協定を締結

2022年7月、日本航空株式会社と「地方創生の推進に係る包括連携協力に関する協定書」を締結いたしました。

地域の観光活性化や誘客支援、地域資源の発掘や磨き上げといった分野において両社の持つノウハウやネットワークを有効活用し、香川県における地方創生の実現をめざすことを目的としております。



TOPICS 地元応援プロジェクトの開始

2022年10月、知られざる香川県の産品を地元へ普及拡大させることを目的に、香川県内の関係団体と連携し応援プロジェクトを開始いたしました。

第1弾 まぼろしの漁師めし『観音寺市・伊吹島の釜揚げいりこ』

[実施期間:2022年10月6日(木)から11月6日(日)]

■ 企画概要

「瀬戸内国際芸術祭2022 秋会期」(2022年9月29日(木)~11月6日(日))に合わせて、企画に賛同いただいた香川県内の飲食店(37店舗)にて、釜揚げいりこを活用した料理メニューを提供

伊吹いりことは | いりことは、一般的に「カタクチイワシ」を煮て干したものを指し、伊吹島の沖合で漁獲されたカタクチイワシを用い、伊吹漁業協同組合が取り扱うものを「伊吹いりこ」といいます。鮮度にこだわった一貫生産が美味しさの決め手で、その濃厚な旨味はさぬきうどんの出汁に使われていることでも有名です。

